



独立行政法人 国立女性教育会館 🍸



女性と男性に関する統計データベースとは···・1p

<u>データベースへのアクセスと統計ダウンロードの仕方…2p</u>

使い方の例

大学におけるジェンダー差について調べたい…4p

<u>検索する</u>

フリーワード検索・・・5p フリーワード検索(シソーラス展開)・・・6p 分野別検索・・・7p 省庁別検索・・・8p

グラフをつくる ~大学におけるジェンダー差~

統計のダウンロードとグラフの作り方(折れ線グラフ)・・・9p 統計のダウンロードとグラフの作り方(円グラフ)・・・11p 統計のダウンロードとグラフの作り方(帯グラフ)・・・13p

女性と男性に関する統計データベースとは・・・

日本の女性及び男性の状況を把握する上で重要な統計をあらゆる分野にわたってとりあ げ、データベース化したものです。それぞれの統計は、結果の経年変化が見られるように まとめられています(一部、国際比較データもあり)。

このデータベースを用いて、課題やプレゼンテーションで使える表やグラフも簡単につ くることができます。

※"New"マークのある統計は、一か月以内にデータが更新されたものです。

女性と男性に関する統計データベースを使えば、こんなこ

とができます。

- ・大学の課題で、自分の主張に統計的な根拠を示せます!
- ・会社のプレゼン資料で、男女の違いについて統計グラフを作成できます!
- 調べ物でいろいろなヒントを見つけられます!

統計データベースへのアクセス方法

①独立行政法人国立女性教育会館ホームページにアクセスする。

<u>https://www.nwec.jp/</u> または

検索エンジンで「国立女性教育会館」「NWEC」と検索。

②ページ上部の「図書・資料・データベース」ボタンにカーソルを合わせる。



③「データベース一覧」をクリックする



④表示された画面をスクロールして、「女性と男性に関する統計データベース」 をクリックする。



⑤データベースのトップ画面にアクセスできます。

			国立女性教育会館/NWE
	女性	と男性に関する統計データ Gender Statistics Databas	パース ^{Be}
	「女性と男性に関する縦排データペー てとりあげ、データペース化したもので "Gender statistics database by NWE and men. It will be useful for you in	-ス」は、日本の女性及び男性の状況を把握す す。 C [°] contains important statistical data colli grasping their situation.	Fる上で重要な統計をあらゆる分野にわたっ ected from all fields of Japanese women
毎年更新される	>> 新善 >> New	情報 >> データベースについて >> 利用方 s >> About this database >> Help	法 >> リンク >> Links
日英統計リーフレットが	国立女性教育会館ミニ統計集 日本の女性と	男性2019年 🛲 / <u>NWEC Summary Gend</u>	er Statistics Women and Men in Japan 2019
ダウンロードできます。		検索 Search クリア Clear	
	フリーワード Free Keywords		
		□ 同義語的 search	使用 by synonyms * □ search by thesaurus *
		同義語使用·	<u>シソーラス展開とは</u> (*Japanese only)
	分野 Category		
		□ <u>世帯・家族</u> ным Household and family	□ 労働 №₩ Labour
	· <u>生活時間・無償労働</u> □ Time use and uppaid work		□ <u>教育·学習</u> □ Learning and study
	□ <u>社会保障・福祉</u> Social security and welfare	□ <u>健康・保健</u> нем Health	<u>安全・犯罪</u> ₩₩ Security and crime
	□ <u>意思決定 мем</u> Decision-making	□ <u>意識調査</u> Consciousness survey	
	臂庁 Ministry and Agency		
	□ 人事院 □ National Personnel Authority	□ <u>内閣府(総理府・経済企画庁)</u> Cabinet Office	□ 宮奈庁 National Police Agency
	□ <u>防衛省(防衛庁)</u> мем Ministry of Defense	総務省(総務庁・自治省) мем ☐ Ministry of Internal Affairs and Communications	□ 法務省 🕬 □ Ministry of Justice

<u>統計データ Excel ファイルのダウンロードの方法</u>

① 統計のタイトルをクリックする。

		女性。	と男性に関する統 Gender Statistics	計データベース Database
索結果:	73 件中 1 - 20	[Results 1 - 20 o	if 73]	>> 検索しなおす New Search
				次ページ Nex
No.	册	出典	省庁	タイトル
	Category	Source	Ministry and Agency	Inte
1.	労働 Labour	労働力調査 Labour Force Survey	総務省(総務庁・自治省) Ministry of Internal Afflirs and Communications	<u>性別15歳以上人口の労働力状態 Labour Force</u> Status (1993, 1998-2018)
2.	労働 Labour	労働力調査 Labour Force Survey	総務省(総務庁・自治省) Ministry of Internal Affairs and Communications	配偶關係別女性労働力率推移 Female Labour Force Status by Marital Status (1975-2018)
3.	労働 Labour	労働力調査 Labour Force Survey	総務省(総務庁・自治省) Ministry of Internal Affairs and Communications	性, 年齢階級 (5歳区分) 別労働力率推移 (1973-2018) Labour Force Status by Sex and Age
4.	労働 Labour	労働力調査 Labour Force Survey	総務省(総務庁・自治省) Ministry of Internal Affairs and Communications	性別労働力人口, 就業者及び従業者推移(1987-2018) Population of Labour Force, Employed Person and At work

②ブラウザの指示に従い Excel ファイルをダウンロードする。
 ※お使いのブラウザによって詳しい手順は異なります。

※お使いのパソコン等の設定によってファイルの保存先は異なります。



③Excel ファイルを開く。

※データは複数のシートに分かれて記載されていることがあります。 ※用語の定義、調査頻度等は表下の注記をご覧ください。

X	5.0								L113010.xls [互	换石	-F] - Excel							ŝ
ファイル	ホーム	挿入	ページ レイアウト	数式	データ	校閲	表示	開発	JUST PDF 3									
	光切り取り		Times New F	loman	- 11 -	A A	===	87 -	■ 折り返して全体を表示する	5	標準		📱 🖤 🔛	-			∑ オート SUM ·	10
貼り付け	回 コピー ▼ ◆ 書式のコピ	ー/貼り付け	В І <u>⊔</u> -	- E	<u>а</u> - д -	7 ∰ +	===	信任	回 セルを結合して中央揃え	ī	🔄 • % •	€.0 .08 .00 →.0	条件付き テーブルとして セルの 書式 * 書式設定 * スタイル *	挿入	削除	書式	● フィル * ● クリア *	並フ
	クリップボード	5		フォント		G			配置	5	数値	5	スタイル		セル		Ĭ	靍集
A1	× :	X	$\sqrt{f_x}$ ν	コード Re	ecord													

4	A	в	С	D	E	F	G	н	Ĩ	J	К
	レコード Record	113010									
ż	表名 Title	性,学校の種類	別在学者数及び	女性の割合の推	移(1955, 1960,	1965, 1970, 1975	, 1980, 1985, 199	0-2018) Number	of Students by S	ex and School Ec	lucation
3	分野 Category	教育·学習 Learn	ing and study								
4	出典 Source	学校基本調査 Sc	hool Basic Survey								
5	省庁 Ministry and Agency	文部科学省 Mini	stry of Education, (Culture, Sports, Scie	ence and Technolo	ogy					
ŝ	出典資料 Source (text)	学校基本調査 So	hool Basic Survey	(2015-2018)							
8	年度 Year	総数 Total	幼稚園 Kindergarten	幼保連携型 認定こども園	小学校 Elementary School	中学校 Lower Secondary School	高等学校 Upper Secondary School	中等教育学校 Secondary school	特別支援学校 Special support school	高等専門学校 College of Technology	短期大学 Junio College
9											
0	男女計(a)(人) Total(a)(person)										
1	2015	19,005,563	1,402,448	281,136	6,543,104	3,465,215	3,319,114	32,317	137,894	57,611	132,68
2	2016	18,945,503	1,339,761	397,587	6,483,515	3,406,029	3,309,342	32,428	139,821	57,658	128,46
3	2017	18,864,095	1,271,918	505,740	6,448,658	3,333,334	3,280,247	32,618	141,944	57,601	123,94
4	2018	18,764,808	1,207,884	603,954	6,427,867	3,251,670	3,235,661	32,325	143,379	57,467	119,03
5											
0	女性(b)(人) Female(b)(person)	0 200 502	(0) 525	127.205	2 105 000	1 (02 207	1 (47 700	16.206	10.022	10.050	117.47
1	2015	9,208,592	661 102	137,393	3,195,808	1,092,397	1,047,789	10,380	48,032	10,059	117,40
0	2010	9,185,018	628 207	246 212	3,100,907	1,005,850	1,041,559	16,557	48,434	10,402	115,97
0	2017	9,140,941	505 767	240,212	3 138 084	1,029,178	1,601,672	16,452	40,044	10,075	105,89
1	2010	5,105,552	555,762	274,211	5,150,504	1,565,202	1,001,072	10,272	47,235	10,757	105,55
2	男性(c)(人) Female(b)(person)										
3	2015	9,796,971	710,913	143,741	3,347,296	1,772,818	1,671,325	15,931	89,862	47,552	15,22
4	2016	9,759,885	678,658	204,065	3,316,608	1,742,199	1,668,003	16,071	91,387	47,256	14,48
	2015-2018	2007-2014 1	955-2006	(+)				•			

※複数のエクセルシートがあるデータもあります。

表名 Title	性,社会教	有施設別記	帯座受講者	数の推移(1	986-2015)	Number of	Participant	s in Classes	and Lectu	re Courses	s by Type o	f Organizer	and Sex
分野 Category	教育·学習	Learning an	d study										
出典 Source	社会教育訓	司査 Social E	ducation Sur	vey									
省庁 Ministry and Agency	文部科学者	i Ministry of	Education, O	Culture, Sport	s, Science an	id Technolog	y						
出典資料 Source (text)	文部科学省	矿社会教育	調査報告書	J (1987-2015))								
		教育委員会			公民館		青	少年教育施	i≎	7	なけ教育施調	n. V	
年度	Bo	ard of Educa	tion	Citiz	en's Public I	Talls	Youth	Education C	enters	Women	's Education	Centers	
Year	計 Total	女 Female	男 Male	≣† Total	女 Female	男 Male	≣† Total	女 Female	男 Male	計 Total	女 Female	男 Male	
1998年	100.0	66.1	33.9	100.0	67.5	32.5	100.0	65.9	34.1	100.0	93.1	6.9	
2001年	100.0	65.8	34.2	100.0	67.1	32.9	100.0	60.6	39.4	100.0	88.4	11.6	
2004年	100.0	65.7	34.3	100.0	66.4	33.6	100.0	59.9	40.1	100.0	94.4	5.6	
2007年	100.0	64.8	35.2	100.0	65.7	34.3	100.0	55.4	44.6	100.0	84.5	15.5	
2010年	100.0	60.6	39.4	100.0	65.9	34.1	100.0	52.7	47.3	100.0	84.8	15.2	
2015年	100.0	61.9	38.1	100.0	65.4	34.6	100.0	53.2	47.0	100.0	82.5	17.5	
注記	1.「公民館」	データには	類似施設は	含まない									
注記	 2.公民館の 	2005年の数	値は2006年	10月発表後,	2007年10月	に発表され	た修正版の	もの。					
	3.1986年か	ら <mark>1998</mark> 年は	帰人教育施	設, 2001年か	らは女性教	育施設に変	更。						
注記	4.2010年の	数値につい	ては,被災3.	県(岩手県,2	宮城県及び褚	富島県)以夕	りの都道府!	県は <mark>201</mark> 1年(り社会教育	調査で尋ね	ている。		
	被災3県は	2012年に補設	完調査を行い	ヽ尋ねている	•								
注記	5.調査は33	∓毎に行われ	າວ.										
Note	5.The survey	is taken every	y 3 years.										

※表下に注記が書かれているデータもあります。



<u>検索してみましょう!</u>





「大学」を項目に含む統計を探す: 「フリーワード検索」



各分野の大学を統計名や項目に含む統計が表示されます。検索時に、同 義語使用にチェックが入っているので、入力したキーワードの同義語 (似た意味の言葉)も含む統計が検索できます。

検索結果が多すぎる場合は、「大学」と入れたあとにスペースを空けて他のキーワードを入 れることで絞り込むことができます。 例)大学 ひとり親

結果

				TICK
1.	労働 Labour	賃金構造基本統計 同査 Basic Survey on Wage Structure	厚生労働省(厚生省・労働省) Ministry of Health,Labour and Welfare	<u>性別, 学歴別労働者数及び構成比率の推移 Number of</u> Workers by Sex and Education (1980-2017)
生) 13. T i	活時間・無償労 働 Fime use and unpaid work	社会生活基本調査 Survey on time use and leisure activities	総務省(総務庁・目治省) Ministry of Internal Affairs and Communications	<u>性別学生・生徒の生活時間(週平均) (1986-2016) Time</u> <u>use by sex and education</u>
16.	教育・学習 Learning and study	学校基本調査 School Basic Survey	文部科学省(文部省・科学技術 庁) Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology	5 性別大学進学率の推移(1954-2017) Advancement Rate <u>to Higher Education</u>
31.	社会保障・福祉 Social security and welfare	全国ひとり親世帯 等調査	厚生労働省(厚生省・労働省) Ministry of Health,Labour and Welfare	<u>性、母子・父子世帯別子供の最終進学目標 (1988-1998,</u> 2011, 2016)







「女性と男性に関する統計データベース」で見つけた統計を使って、グラ フを作成してみましょう。 グラフのタイトルをクリックすると、 Excel フ ァイルをダウンロードすることができます。 検 索 Category Ministry and Agency 賃金構造基本統計 調査 Basic Survey Ministry of Health,Labour Ministry of Health,Labour Workers by Sex and Education (1980-2018) 労働 1. Labour Structure 生活時間・無償労 社会生活基本調査 総務省(総務庁・自治省) Survey on time use and leisure use and leisure use and leisure use and leisure use and Survey in the state of the s 働 2. Time use and and Communications unpaid work activities 文部科学省(文部省·科学技術 /丁) Ministry of Education, 任別大学進学率の推移(1954-2018) Advancement Rate 教育·学習 学校基本調査 4. Learning and School Basic to Higher Education study Survey Culture, Sports, Science and Technology Click! ダウンロードしたファイルから、グラフを作成することができます。Excelのグラフ機能 や、グラフ作成ソフトを使用してみましょう。ここでは「性別大学進学率の推移」のグラ フを作成します。推移を見やすくするために、折れ線グラフを選択しましょう。 M 8 5. c. ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校開 表示 JUST PDF 3 COBE 9414 542 A テキスト へッダーと ポックス * フッター π 数式 山山 縦棒 勝敗 スライサー Ω 記号と神 テーブル 8 アドイン グラフの挿入 × F13 ・ : × ✓ fx 文 おすすめグラフ すべてのグラフ 1.00 折れ B C D E F G A 1 レコード Record 2 表名 Title グラフ タイトル 性別大学進学率の推移(1954-2017) Advancement Rate to Higher Ec TEMA ナ 型 ナ = 00 推 e for (1954-2017) ArVancement Kate to right E 教育 学習 Learning and study 学校基本調査 School Basic Survey 文部科学者 Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology 文部科学報告報告報告(2004-2017) 学校基本調査報告者(2004-2017) 分野 Category 50.0 分野 Category 出典 Source 省庁 Ministry and Agency 出典資料 Source (text) 出典資料 Source (text) 出典資料 Source (text) and the ment 大学(学部)・短期大学(本科)への 進学率(過年度高卒者等を含む) 等を含む) 第次 1線グラフは、一定期間 (年、月、および日)における傾向を表示したり、順番が 10の項目を表示したりする際に使用します。データ要素が多数あり、順番がす。 University & Junior College University 13 81 81 女 Total Female Male 57.3 57.7 56.8 Total Female 52.6 49.1 Male 14 78 55.9 2017 79 80 注記 1 大学(学部)・短期大学(本科)への道学平(過年度高辛者等を含む)とは。 3年前の中学校卒業者数で除した比率である。 注記 2 大学院への道学率とは、大学学部卒業者のうち,ただちに大学院に進学 81 82 83 84 85 86 87 88 注記 3.大学院進学率は翌年度付の文部科学統計要覧にのみ掲載 OK キャンセル 注記 4.調査は毎年行われる。 Note 4.The survey is taken every year

グラフを作成する:折れ線グラフ

11



上記のグラフからは、当初は男女とも大学進学率が低かったものの、時代を下るに従って多少の増減がありつつも進学率が増えている傾向を捉えることができます。男女の折れ線を比べると、女子の進学率は常に男子を下回っており、2016年時点でも、その差は3.8 ポイントの開きがあることが分かります。

それでは、大学での専攻分野の男女の割合はどうでしょうか? 男性が多い学部、女性が多い学 部があるのでしょうか?

次のページでは割合を見るのに適した円グラフを作成します。

解 説

グラフを作成する: 円グラフ 「女性と男性に関する統計データベース」で見つけた統計を使って、「大学 の専攻分野別男女比」グラフを作成してみましょう。ダウンロードしたファ 検 索 イルから、グラフを作成することができます。Excelのグラフ機能や、グラフ 作成ソフトを使用してみましょう。比率を見やすくするために、円グラフを選択しましょ う。 X 8 5. d. . L113090.xls [互換モード] - Excel ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 JUST PDE C 日本 「加」 加」 「加」 「 スパークライン フィルター リンク r, テキスト • : 🗙 🗹 f_x 66.6 ? × I1 4 グラフの挿入 おすすめグラフ すべてのグラフ トコード Record 2 表名 Title 3 分野 Category 3 分野 Category 4 出典 Source 5 省庁 Ministry and Agency 6 出典資料 Source (text) 7 出典資料 Source (text) 7 B 113090 L ▶ 最近使用したグラフ 113090 性,大学の専攻分 教育・学習 Learning 学校基本調査 Scho rgraduate Course) デンプレート M 縦棒 文部科学省 Ministry 学校基本調査報告 文部科学統計要覧 ▲ 折れ線 ③ 円 ■ 横棒 ▶ 面 人数(9 図 散布図 計 Total 女 Fe 10 <u>iiii</u> 株価 11 12 (B) 等高線 1993年 Year 1993 12 13 総数 Total 14 人文科学 Humanities 15 社会科学 Social Science 16 理学 Science 17 工学 Engineering 18 農学 Agriculture 19 保健 Health 唐 レーター 2,209,028 6: 348,145 2: 883,568 10 山山 組み合わせ 76,736 431,907 71,000 117,989 19 床随 Fream 20 医· 凿学 Medicine & Dentistry 21 医· 凿学以外 Other than Medicine & Dentistry 67,399 50,590 21 22 22 商船 Mercantile Marine 23 家政 Home Economics 24 教育学 Education & Teacher Training 954 39,404 145,730 25 芸術 Arts 26 その他 Others 54,490 39,105 OK キャンセル 27 28 29 総数 Total 30 人文科学 Humanities 21 合計算 Cuid Science 1999年 2,448,804 408,310 886,873 1,561,931 275,082 133,228 100.0 100.0 100.0 8.5 100.0 36.2 67.4 100.0 63.8 31.0 32.6 4 Sheet1 (+) 準備完了 詞 数:26 合計:1300.0 III II --



折れ線グラフのページで紹介したように、大学進学率の性別差は小さくなってきました。しかし専攻分野によって男女比に差があることが分かります。特に理学・工学などの分野では、女性の比率がとりわけ少ないことも分かります。
 それでは、大学で研究をしている人(研究者)の男女比はどうでしょうか?

次のページでは、比率を見るのに適したもう一つのグラフである帯グラフを作成します。

グラフを作成する:帯グラフ

「女性と男性に関する統計データベース」で見つけた統計を使って、「大学 等における本務研究者の性別構成比」グラフを作成してみましょう。ダウンロ ードしたファイルから、グラフを作成することができます。Excelのグラフ機能 や、グラフ作成ソフトを使用してみましょう。比率を見やすくするために、ここでは帯グ ラフを選択しましょう。

· 示	す に な す す の た が た か た す っ プ ル	本 が す ン う の の の の の の の の の の の の の	形 * nartArt リーンショット *	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	▶ Bing マッ People G	が Brapi かすす グラン	山・〓・薄 が、・盆・前 が、・ 込・ がう・ し・ がっつ	く ・ ビボットグラフ ・	1000 年間 1010日 1010 10000 10000 10000 10000 10000 10000 10	- - - 勝敗 ス - - - - - - - - - -	(5719- 971) 5719- 971) 5719-	していた。 リンク	A テキスト へい ポックス * フ デキ
L1	4 👻 i 🗙 🗹	<i>fx</i> 72004						グラフ	の挿入			? ×	
		P	0	0	おすすめグラ	7 すべてのグラ	7						
	A Record	113170	0	U									
	ま名 Title	性研究主任	*创研究本3	8. 去教·対前年	6 最近	使用したクラノ				复鱼			
	公明 Category	新苔·学羽 I	earning and d	hidu	テンプ	ルート							
	出曲 Source	秋月 丁目 5	空調查 Survey	of Research ar	11 縦榑	5	10001 11		\sim				
	省庁 Ministry and Agency	総務省 Minis	try of Internal	Affairs and Cor	∠ 折れ	線	100% 積	の上り横構					
	出曲資料 Source (text)	科学技術研究	穷蛔杳(2012-)	2017) Report on	() H			グラフ タイトル			グラフ タイトル		
	ER ATT Source (text)	117 201912	CONTRACTOR OF	(in the second sec	■ 横樽								
					▶ 面								
	年次		総数		😥 散布	Ø	2			1.04			
	1.04		Total		<u>」</u> 株価	i	i as zs	65 E5	87N 107N	N 25	475 675	275 225	cher)
	Vear	It Total	☆ Female	男 Male	@ 等高	線		· 208 · 208		*8,91	18 + 196 - 196 - 198 - 198 - 198 - 198 - 198 - 198 - 198 - 198 - 198 - 198 - 198 - 198 - 198 - 198 - 198 - 198	41	fale
	100	UT rota	~ I cindic	/)	索 レー	ダー							Inc
	研究者数(人) The Number of I	Researchers			血組み	合わせ							
	2012	892,684	124,686	767,998									3,796
	2013	887,067	127,836	759,231									2,867
	2014	892,406	130,603	761,803									2,801
	2015	926,671	136,206	790,465									3,531
	2010	917 725	136,420	773 599									3 202
	2017	711,125	144,120	115,577									5,202
	構成比(%) Percentage Distribu	ition											
	2012	100.0	14.0	86.0									23.9
	2013	100.0	14.4	85.6									24.0
	2014	100.0	14.6	85.4							OK	キャンセル	23.8
	2015	100.0	14.7	85.3							-		23.0
	2016	100.0	15.3	84.7	59.6	5.1	54.5	4.9	0.8	4.1	32.0	8.6	23.4
	2017	100.0	15.7	84.3	59.0	5.4	54.2	4.8	0.8	4.0	31.9	8.7	23.2
	注意	1 2002年調査	い調査対象	1000000000000000000000000000000000000	1.137ド「研空	機関(を)金	業等」 及7ド「ます	「利田休・小」	約機関ロニ変す	F			
	/土市С	1.2002-+69月 +t-「午日本省	とのノ 回り且 刈り 巻」「今 融 / 모R	☆☆」「サニビコ	業の一切が	「城は山で」正: に国本計争を	本守」次して外に 「巻」に迫力の 輝っ		「調本本酒の	入。 ié hn. 亦可:	**		
	< → 2012-2017	2002-2011	1984-198	6, 1988-2001	構成比	+			: 4				
	**************************************								T 15				

グラフができました。構成比が見やすいのが帯グラフの特徴です。

 新れ線グラフのページで紹介したように、大学進学率の性別差は小さくなってきました。また、円グラフのページで紹介したように、専攻分野別の男女比は、男性が多い

 解

 記

 W

 か野、女性が多い分野などばらつきがあります。しかし大学の研究者全体に占める女

 性の割合は、上昇傾向にあるものの、未だ3割以下にとどまっていることが分かります。

独立行政法人 国立女性教育会館

National Women's Education Center of Japan

発行:2020年1月編集:独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地